

社会資本総合整備計画

令和6年3月25日

計画の名称	公共交通の利便性向上と新たな拠点形成に資する新駅整備										重点配分対象の該当	
計画の期間	令和6年度～令和10年度（5年間）											
交付対象	船橋市											
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> 海老川上流地区に新駅を核とした交通結節点を整備することで新たな移動手段を確保し、JR船橋駅に集中しているバス路線と車を分散させることにより、渋滞緩和による利便性の向上と将来にわたる公共交通サービスの確保を図る。 鉄道とバスを連携し車利用から公共交通への転換を促すとともに、ふなばしメディカルタウン構想に基づく健康維持や予防医学等の考えを活かしたまちづくりを行い、訪れた人が楽しみながら歩いて健康になれるまちを目指す。 											
全体事業費（百万円）	合計 (A+B+C+D)	4,934	A	4,934	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C+D)	0.00%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(R6当初)		(R10末)
1	<ul style="list-style-type: none"> 新たな移動手段として、新駅の開業時（R10末）の乗降客数を2,440TE/日とする。 新駅の乗降客数を測定する。	0TE/日		2,440TE/日
2	<ul style="list-style-type: none"> 自動車から徒歩及び鉄道（新駅利用）への転換を促し、周辺道路の混雑度を1.34（R6）から1.31（R10）へと緩和する。 船橋我孫子線及び夏見小室線における交通量を測定し、混雑度を算出する。 各路線の（12時間混雑度）＝（12時間交通量（台））／（12時間交通容量（台））の平均値	1.34		1.31

備考等	個別施設計画を含む	国土強靱化を含む	定住自立圏を含む	連携中枢都市圏を含む
-----	-----------	----------	----------	------------

(参考図面) 社会資本整備総合交付金

計画の名称	公共交通の利便性向上と新たな拠点形成に資する新駅整備	交付対象	船橋市
計画の期間	令和6年度～令和10年度(5年間)		

